

第3章 緑の将来像

山林や農地、河川や公園、鎮守の森、街路樹などさまざまな形で存在する緑には、安全で、健やかで、豊かな市民の暮らしを支える多様な機能があります。

先人の営みや努力によって引き継ぎ育まれてきたこれらの緑は、都市化や生活様式の変化により、量的な減少や、機能的な劣化が進んでいます。

緑の恩恵を享受できる豊かさを引き継いでいくことは“なんとなく”では実現しません。

緑のちからを暮らしに活かし、緑の恩恵を享受できる豊かなまちを将来世代に引き継いでいくため、基本理念を定め、分野横断的に取り組んでいきます。

1 基本理念

緑のちからを みんなで育み
暮らしに活かすまち 本庄

【目指すべき本市の緑の姿】

- 地域住民、農林業従事者、ボランティア、企業、行政、そして新たな担い手など、さまざまな主体がさまざまな場面と方法で、緑をまもり、つくり、育んでいます。
- 先人の営みや努力によって引き継ぎ育まれてきた多様な緑が、将来にわたり安心して暮らせるまちを支えています。
- 緑を介して、コミュニティが育まれています。
- 子供からお年寄りまで、豊かな緑に育まれ、健やかに暮らしています。
- 緑を使いこなした効果的な都市経営により、魅力と活力のあるまちをつくっています。

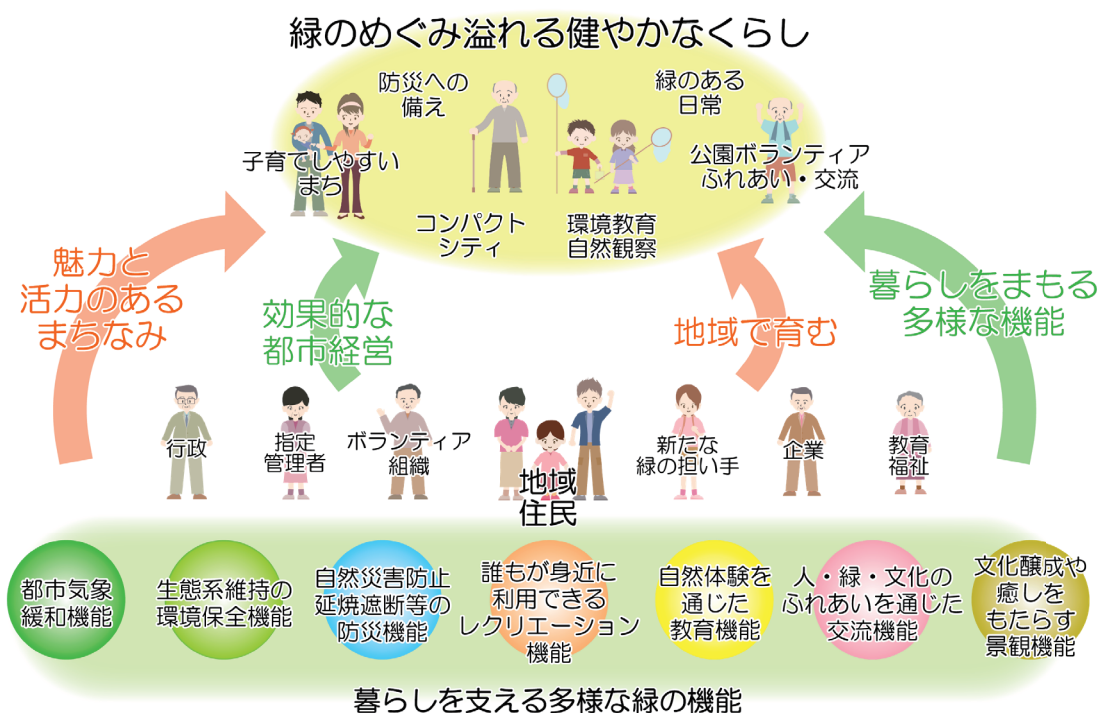


図 40 豊かな緑に支えられた健やかな暮らしのイメージ

それぞれの地域に分布する多様な緑に支えられた本市のイメージを示します。

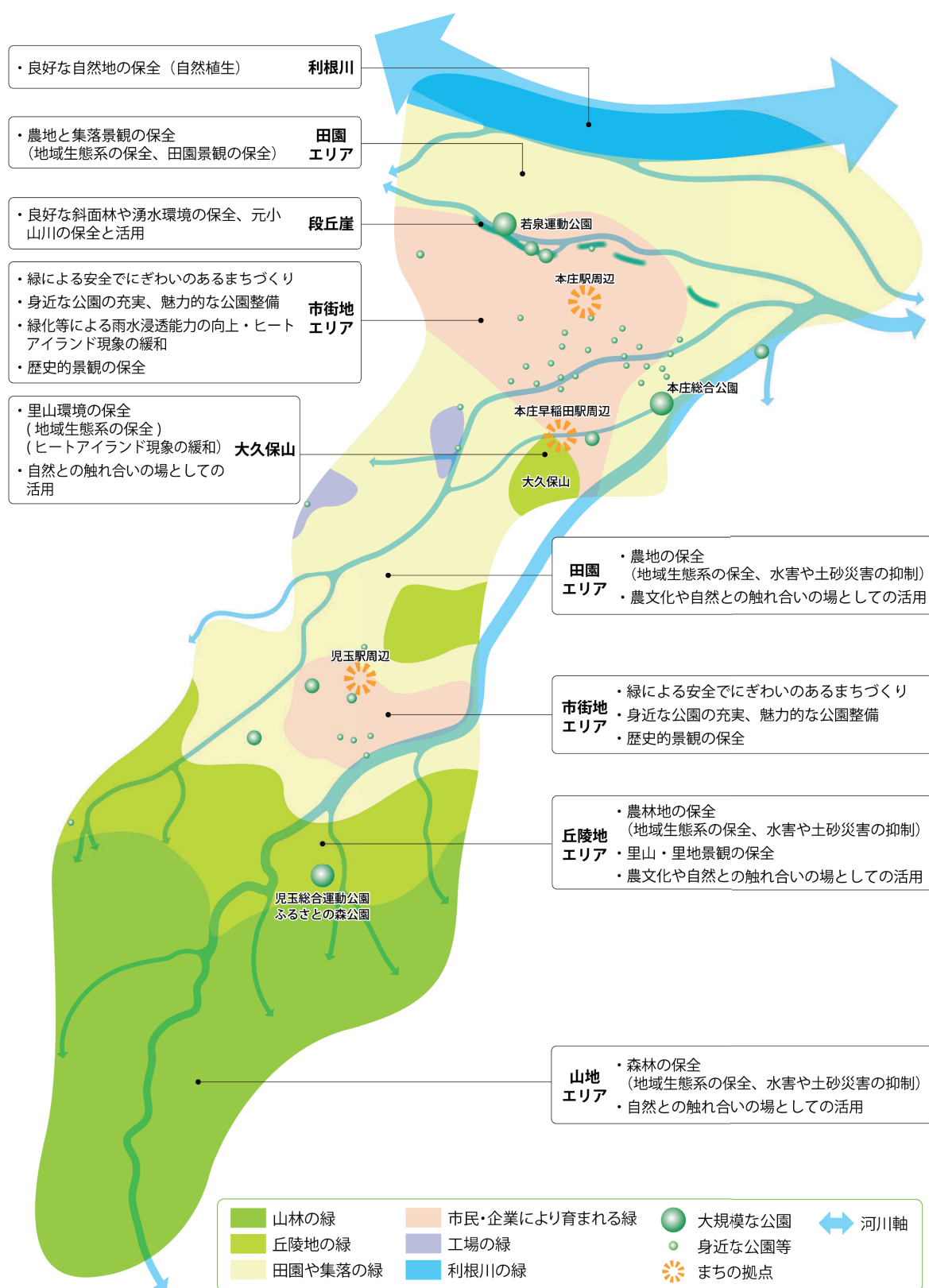


図 4-1 地域の緑に支えられた本市のイメージ

2 基本方針

基本理念の実現に向けた基本方針を以下に定めます。

2-1 多様な市民ニーズに応えるレクリエーション空間の充実

子供の遊び場、健康維持の場、魅力的な休息の場など、多様な市民ニーズに応える公園機能の充実を図ります。また、都市公園に加えて、周辺の公共施設や民間施設との連携を推進し、身近な遊び場や休息の場となる緑の空間の充足を図ります。大きな公園では、民間のノウハウを活用した魅力的な公園づくりと持続的な公園経営を目指します。

2-2 歴史や文化を伝える緑の継承と良好なまちなみの形成

地域の歴史文化を伝える巨木・古木、まちなかの民有林などについて、引き続き将来世代に引き継いでいくため、保存制度の適用、保全支援、公民連携策の拡充を図るとともに、本庄の豊かな緑の景観の魅力発信、認知度の向上を図ります。また、美観向上と持続的な維持管理の両立を図る道路緑化の今後のあり方について検討します。

2-3 持続可能で魅力ある地域づくりのためのグリーンインフラの推進

本市には、森林や農地、河川、社寺林、商工業地や住宅の身近な植栽地など、さまざまな緑が分布し、水害やヒートアイランド現象の緩和、災害時の安全性の確保、地域生態系の維持など、市民の暮らしを支える多面的な機能があります。これらの緑の多面的機能を将来にわたってまちづくりに活かすため、農林業の振興策と合わせた農林地の健全な保全や、身近な緑の保全と創出を図ります。

2-4 市民協働による緑のまちづくりの実現

社会情勢の変化や市民ニーズの多様化への対応、地域固有の課題に応じた特色を活かした施策の展開を図るため、さまざまな分野で協働の取組が大切になってきています。

本市においても、活力のある持続可能な地域社会を実現するため、緑をまもり、つくり、そだてる担い手の育成を図るとともに、公園利活用策や公園愛護会制度などの市民活動への支援、市民参画制度の充実を図ります。また、協働を推進するための情報の共有化や協働事業のPR・啓発を進めます。

4つの基本方針は、相互に関連しあっています。

グリーンインフラが、レクリエーションや歴史文化・景観を支え、それらを育んでいくのが「人」や「活動」に関わる取組です。

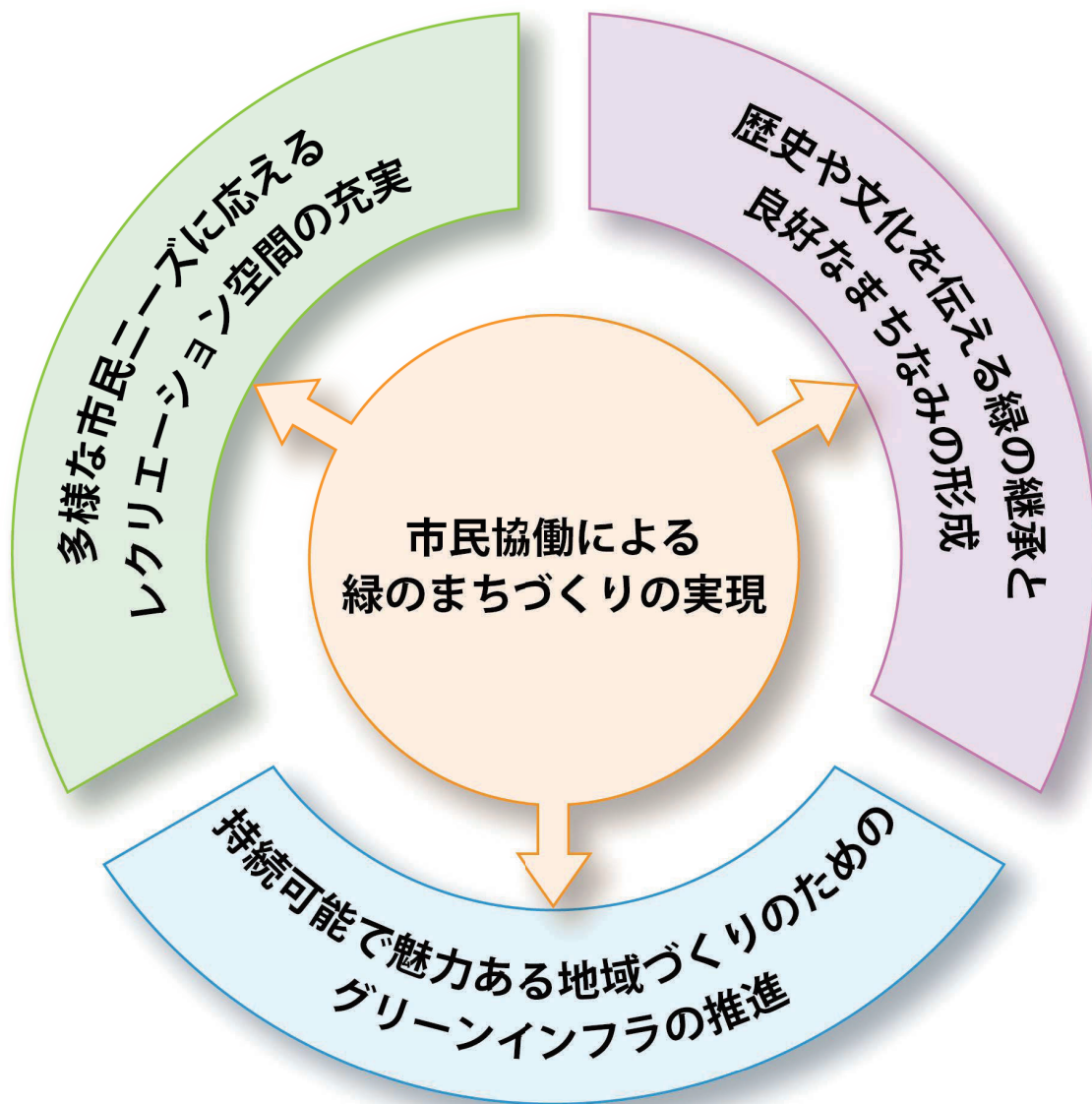


図 42 4つの基本方針の関係